



沓形保育所父母の会による凧車「うし」くん大好評
(浮島まつりより)

■人口と世帯■

世帯数 1,399 (±0)
人口 5,261人 (+2)
男 2,622人 (-2)
女 2,639人 (+4)

昭和63年7月末日現在
(住民基本台帳登録人口)

■おもな内容■

- 2~3...カメラスケッチ〜りしり浮島まつり
- 4~12...町民アンケート調査結果まとまる
- 13~16...利尻町議会道外先進地視察報告
- 17~18...議会だより〜一般質問
- 19...町民文化祭の作品を募集
- 20...優良勤労青少年顕彰〜上村一治君が受賞
- 21...わが家のアイドル
- 22...あなたと保健室
- 23...りしりの博物誌
- 24...出稼労働者傷害保険
- 25...消防だより
- 26...戸籍のうごき

交通事故死ゼロ記録9月1日現在26日

カメラスケッチ



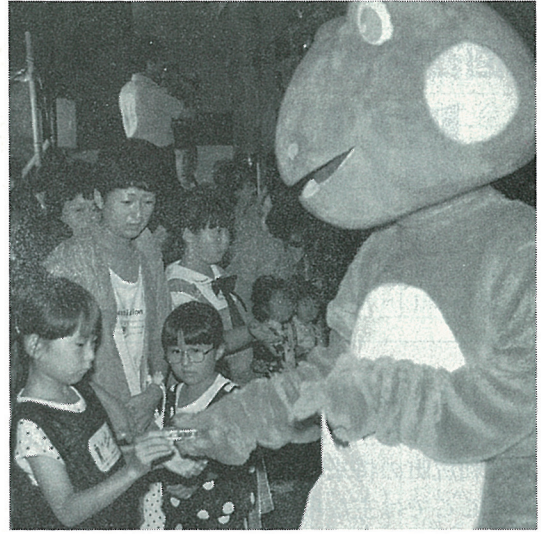
りり浮島まつり

第18回を迎えた「りり浮島まつり」は、8月5日沓形地区、6日仙法志地区でそれぞれ行われました。

両地区とも浮島音頭に合わせ、鳥追い笠に趣向をこらした浴衣姿で踊り、力作ぞろいの山車や仮装も加わって、沿道の観衆の喝采を浴びていました。

又、沓小・仙小児童による鼓笛隊パレードや、商工会青年部などによる「どんと市」「スイカ割り大会」などの協賛行事も多数行なわれ、楽しい一日となりました。





利尻町母子会が清掃奉仕～全国一斉国立公園クリーンデー



去る八月七日、全国一斉国立公園クリーンデーに利尻町母子会の皆さんが、沓形岬公園やフェリーターミナル周辺の清掃活動に奉仕されました。

回答率65% 回答件数902世帯 ありがとうございました。

町民アンケート調査 結果まとまる

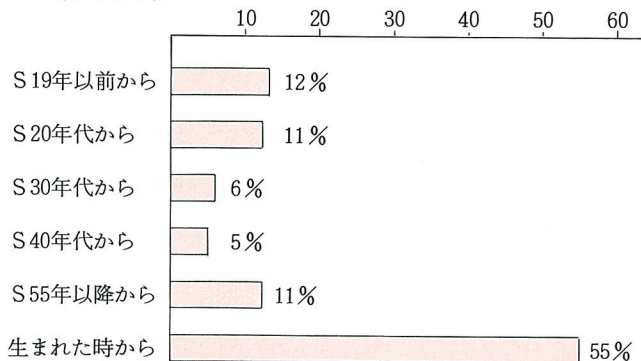
ことしの5月に行った町民アンケート調査の結果がまとまりました。
このアンケート結果を参考に総合振興計画の策定を進めていきます。
利尻町の将来の町づくりに、今後も町民の皆さんの積極的な参加をお願いします。
ここでは主な項目について、ご紹介します。

定 住 意 向

◎ 利尻町にいつ頃から住んでいますか。(グラフ1)

住民の居住時期は、「生れた時から」が55%と半数以上を占めており、新しく住まれる方の割合が少ない。

62%が利尻町に住み続けたい愛着心持つ。
「ずっと44%」 「当分18%」
(グラフ1)

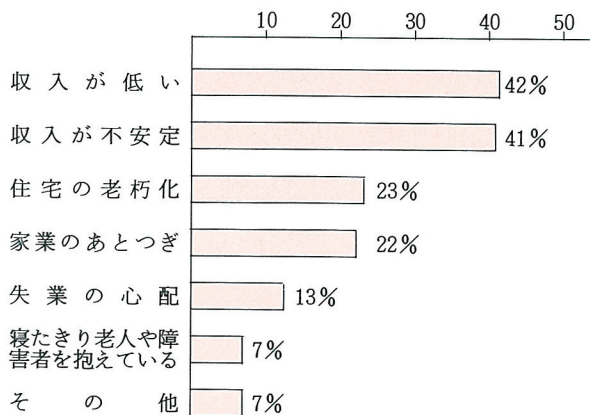


◎ これからも利尻町に住む考えですか。(グラフ2)

(グラフ2)

ずっと住みたい	44%
当分住みたい	18%
どちらとも言えない	17%
できれば是非 移転したい	12%
わからない	9%

◎ 現在の生活での不満の点は。(2つ選ぶ)
(グラフ3)



※ 「収入が低い42%」、「収入が不安定が41%」と収入の安定を図ることが必要となっています。

10年間の変化

◎ 町が10年前に比べて良くなった面、悪くなった面は。(表1)

「交通の状態」(76%)、「買い物環境の状態」(48%)を除いて全て「変わらない」がトップになっています。

(表1)

	良くなった	変わらない	悪くなった
1. 交通の状態(利便性)は	632件 76%	157件 19%	38件 5%
2. 自然環境の状態は	257件 33%	304件 39%	212件 28%
3. 生活環境の状態は	343件 44%	348件 45%	86件 11%
4. 買物環境の状態は	371件 48%	335件 43%	67件 9%
5. 地域の連帯感は	117件 16%	489件 65%	144件 19%
6. 祭・行事は	75件 9%	443件 56%	275件 35%
7. 人間味は	78件 10%	511件 66%	186件 24%
8. 暮らし向きは	221件 27%	430件 53%	159件 20%

他町村との比較

◎ 管内町村と利尻町との水準はどうか。(表2)

「普通」と答えた方が全てにおいてトップになっています。

(表2)

	良 い	普 通	悪 い
1. 交通の状態(利便性)は	213件 25%	486件 57%	157件 18%
2. 自然環境の状態は	136件 16%	568件 69%	124件 15%
3. 生活環境の状態は	84件 11%	578件 75%	104件 14%
4. 買物環境の状態は	100件 13%	461件 61%	194件 26%
5. 地域の連帯感は	67件 9%	531件 73%	128件 18%
6. 祭・行事は	39件 5%	489件 66%	213件 29%
7. 人間味は	94件 13%	539件 73%	105件 14%
8. 暮らし向きは	51件 7%	549件 71%	172件 22%

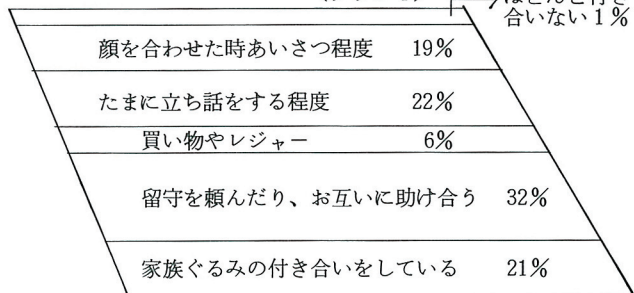
地域コミュニティ

親密な交流は〔約6割の人〕

◎ あなたは、ふだんとなり近所どのようにつきあいを。(グラフ4)

この調査では、近所づきあいなどの地域交流は非常によく、親密な交流が5人に3人(59%)の割合合いとなっています。

(グラフ4)



◎ 地域団体活動の参加状況は。

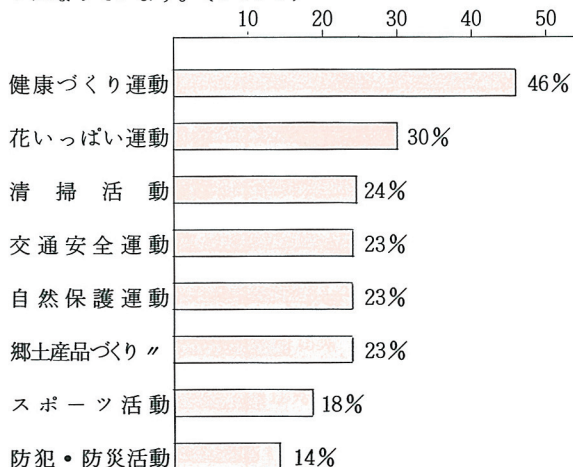
参加活動している団体をすべてあげてもらいましたところ、

1位	婦人会活動	15%
〃	消防防災活動	15%
〃	体育スポーツ活動	15%
2位	青年部・婦人部活動	13%
3位	P T A 活動	12%

と上位を占め、「参加していない」が31%という結果となっています。

◎ まちづくりに向けて、活動への参加意向は。

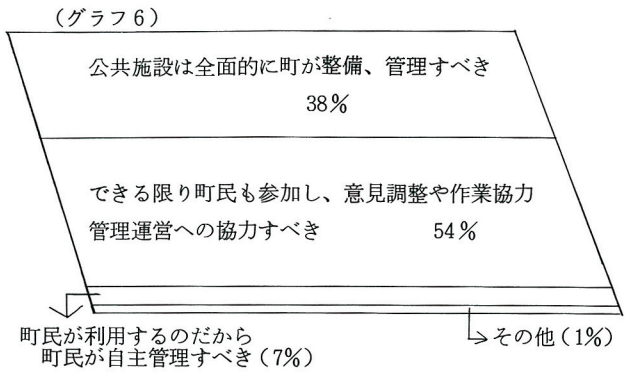
今後の参加活動を3つ選択してもらいましたところ、次のような結果となり、「健康づくり運動(46%)」がトップになっています。(グラフ5)



行政と住民
役割分担

◎ 公共施設の整備や運営に対する住民協力をどのように思っているかについて。(グラフ6)

2人に1人(54%)の人ができる限り町民も参加し、協力するべきとの考え方を示しました。



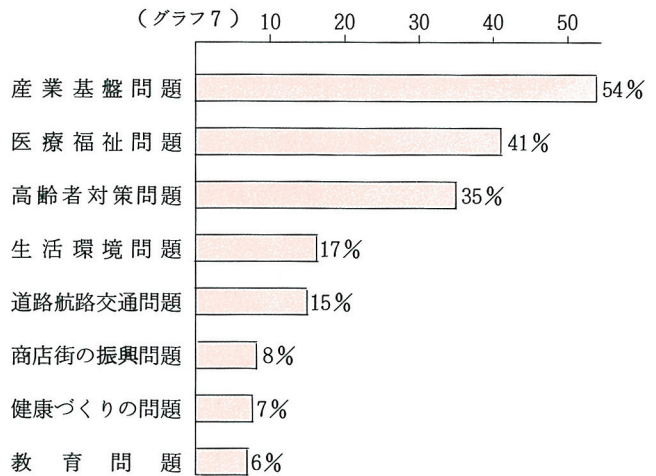
町づくりの
対 策

住みよい町を築く
課 題

◎ 今後豊かで明るく住み良い町を築くための課題として何が重要か。(グラフ7)

2つ選択してもらいましたが、「産業基盤問題」54%、次いで「医療福祉」41%、「高齢者対策」35%と老後に対する課題が大きく重要視されています。

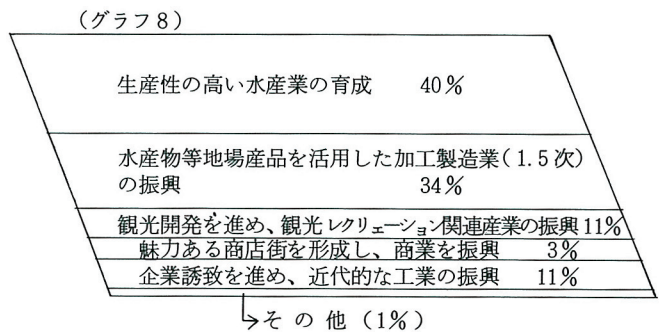
「創造性豊かで、活気があり、人々が生き生きと働き、産業が発展する町」の願い(50%)



町の産業像

◎ 発展可能性から、将来の町の産業像は。(グラフ8)

1つを選択してもらいましたが、「水産業の育成」40%、「水産物の活用した1.5産業の振興」34%と、水産資源の育成活用が必要とされています。

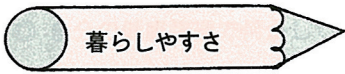


町の将来
イメージ

◎ どんな町の将来イメージを望むか、2つ選択してもらいました。(表3)

(表3)

人々の心がかよいあい、人々がともに助け合う人間性豊かな福祉のあるまち	42%
創造性豊かで、活気があり、人々が生き生きと働き、産業が発展するまち	49%
恵まれた自然景観に囲まれたのどかなまち	14%
保健医療施設や公園、上下水道など生活環境の整備された清潔で健康的なまち	39%
教育環境が整い、文化活動も盛んな教育文化のまち	6%
スポーツ活動や体力づくりなどが盛んなまち	4%
ゴミのない緑と花いっぱい美しいまち	10%
道路交通の便が整備充実した便利なまち	10%



(グラフ 9)

順位	満足している	普通	不満である	満足度スコア
1. 水道の整備	38%	57%	5%	(3.37)
2. ゴミ・し尿の収集	30%	52%	18%	(3.12)
3. 消防の体制	24%	62%	14%	(3.10)
3. スポーツ施設の整備	21%	68%	11%	(3.10)
4. 自然環境	16%	74%	10%	(3.06)
5. 町の広報広聴	17%	71%	12%	(3.05)
6. 人とのふれ合い、人情味	14%	68%	18%	(2.96)
7. 道路の整備や除雪	19%	55%	26%	(2.93)
8. 教育文化施設(学校・図書など)	11%	70%	19%	(2.92)
8. 町内の組織	9%	74%	17%	(2.92)
9. 趣味やスポーツ・娯楽を楽しむ機会	12%	64%	24%	(2.88)
10. 公園緑地・子供の遊び場	12%	57%	31%	(2.81)
11. 医療施設	14%	50%	36%	(2.78)
12. 買い物の便	10%	55%	35%	(2.75)
13. 定期船・バスなどの交通の便	15%	43%	42%	(2.73)
13. 観光施設の整備	6%	61%	33%	(2.73)
14. 老人・障害者などの福祉施設	6%	55%	39%	(2.67)
15. 産業の振興	3%	50%	47%	(2.56)
16. 物価	18%	81%		(2.20)

◎ 現在の生活環境について、あなたはどのように感じていますか。(グラフ 9)

現在の生活環境では、「物価」81%と不満のトップとなっていますが、他は全て「普通」がトップになっています。

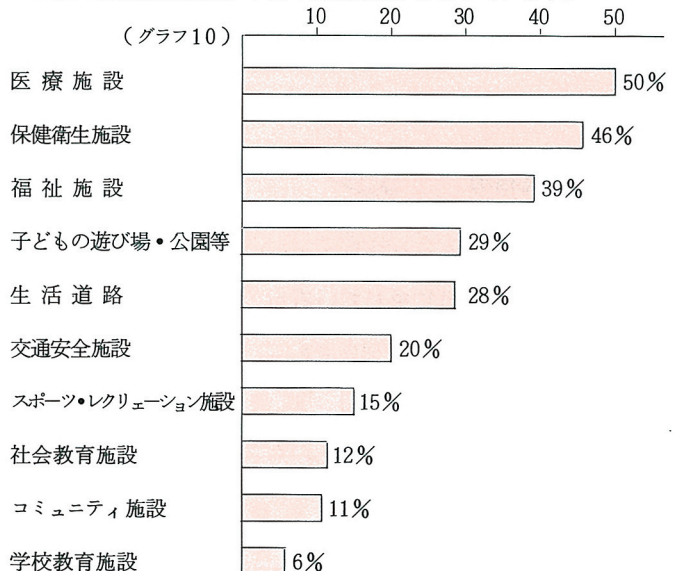
(注) 満足度スコアは、4点に近づくほど満足が高く、2点に近づくほど不満が高いことを示す。

順位は、「満足している」4点「普通」3点、「不満である」2点として、平均点の多い順に並べたものです。

◎ 生活関連施設で不足、整備の必要性 (グラフ 10)

3つ選んでもらいましたが、トップは「医療の充実」2位「保健衛生施設」3位「福祉施設」となっています。

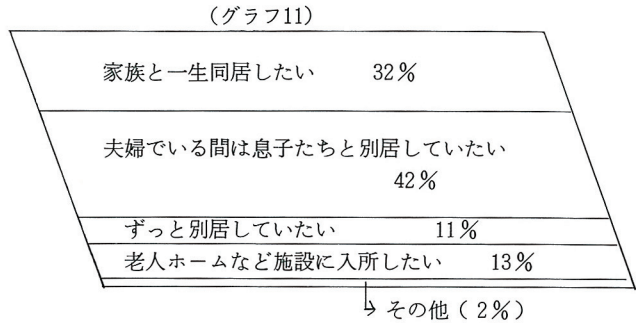
(グラフ 10)



社会福祉

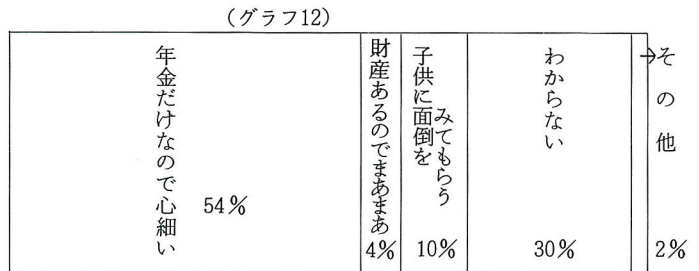
◎ あなたの老後の生活はどのように考えていますか。(グラフ11)

老後の生活は「夫婦でいる間は別居」42%を占めていますが、「家族との同居」32%と老後は、家族との同居を重視しているものと考えられます。



◎ 老人になったときの経済的基盤は。(グラフ12)

「年金だけなので心細い」54%と高く、今後老人になったときの経済的基盤に不安を残している。



◎ 高齢者が老後を送るための今後の高齢者対策は。(表4)

充実した老後を送るためには、「年金の増額」が63%とトップを占め、2位「老人ホーム等の施設の建設」42%、3位は「医療の充実」41%となっています。

順位 (表4)

1. 年金の増額	63%
2. 老人ホームや福祉療等入所施設の建設	42%
3. 医療の充実	41%
4. 老人の知恵や技術を生かせる生産活動の場の整備等	36%
5. 寝たきり及び痴呆性老人や独居老人への在宅福祉の充実	30%
6. 老人向けレクリエーションの場及び機会の充実	14%
6. 老人クラブ等、老人団体の育成強化	14%
7. 町民の助けあい精神やボランティア意識の啓発	13%
8. 高齢者学級など、老人の学習機会の拡充	9%
9. 保育所児や青少年とのふれあい機会の拡充	4%

保健指導

◎ 各種保健指導、検診等の内容についてどのように感じているか。(表5)

「各種検診」52%、「健康相談」42%、と充分であるとなっていますが、「ミニドック健診」68%、「訪問」68%、「教室(衛生教育)」72%と受けたことがないのでわからないという結果となっています。

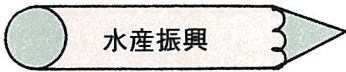
(表5)

	充分である	不十分である	受けたことがないのでわからない
ミニドック健診	161件 23%	61件 9%	467件 68%
各種検診	317件 52%	117件 19%	180件 29%
健康相談	267件 42%	95件 16%	267件 42%
訪問	82件 15%	102件 17%	399件 68%
教室(衛生教育)	72件 12%	87件 16%	399件 72%

◎ 自分の健康管理で何かしていますか。(表6)

トップは「町の集団検診を受診」35%となっており、2位は「病院で治療」19%、3位は「食生活に気をつける」となっております。

1. 町の集団検診をできるだけ受けている。	35 %
2. 病院で治療している。	19 %
3. 食生活に気をつけている。	18 %
4. 職場検診をできるだけ受けている。	14 %
5. 節制を心掛けている。	5 %
6. スポーツ等に励んでいる。	4 %
7. 健康相談を利用している。	2 %
8. 人間ドックを利用している。	2 %



◎ 今後の漁業についてどのようなところに力を入れるべきだと思いますか。(表7)

2つまで選択してもらいましたところ「附加価値対策を図る」53%とトップを占め、「漁業基盤整備を図る」が49%となっております。

(表7)

1. 製品加工及び活漁等の附加価値対策を図る	53 %
2. 漁業基盤整備を図る	49 %
3. 漁業の協業化を図る	30 %
4. 観光漁業を推進する	19 %
5. その他	1 %

◎ 将来ともに期待する漁業はどれだと思いますか。(表8)

3つまで選択してもらいましたところ、「ウニ」が92%とトップを占め、「天然コンブ」が61% 2位、「養殖コンブ」が32%で3位となっております。

種 別	件 数	率	種 別	件 数	率
1. ウニ	711件	92%	8. ワカメ	51件	7%
2. 天然コンブ	473	61	9. タコ	37	5
3. 養殖コンブ	252	32	10. ナマコ	30	4
4. ホッケ	238	31	11. イカ	26	3
5. アワビ	139	18			
6. サケ・マス	94	12			
7. ホタテ	53	7			

◎ 養殖事業について、今後どの事業に力を入れるべきだと思いますか。(表9)

3つまで選択してもらいましたところ「ウニ」90%とトップを占め、「コンブ養殖」57% 2位、「サケ・マス養殖」39% 3位となっております。

(表9)

順位	種 別	件 数	率
1	ウニ養殖	682件	90%
2	コンブ養殖	431	57
3	サケ・マス養殖	292	39
4	アワビ養殖	291	38
5	ホタテ養殖	139	18
6	ヒラメ養殖	129	17
7	ワカメ養殖	58	8
8	その他養殖	10	1

◎ 漁業経営で現在必要とされているものについて。(表10)

3つ選択してもらいましたが、トップに「生産物・漁価の安定」82%、2位に「生産に対する意識」52%、3位に「漁業経営及び技術指導」となっています。

(表10)

順位		件数	率
1	生産物・漁価の安定	608件	82%
2	生産に対する意識	389 "	52 "
3	漁業経営及び技術指導	342 "	46 "
4	経営資金の低利・長期貸付制度	266 "	36 "
5	漁港・船揚場の整備	130 "	17 "
6	漁船装備の改善	101 "	14 "
7	漁船大型化	38 "	5 "

商店への要望

◎ 地元の商店についてどのようなことを望んでいますか。(表11)

2つ選んでもらいましたが、トップは「良い商品を豊富に置く」63%、2位は「サービスの向上」57%、3位「大売出し等を盛んにする」33%が上位を占めました。

(表11)

順位		件数	率
1	良い商品を豊富に置く	483件	63%
2	サービスを向上させる	437 "	57 "
3	大売出し等を盛んにする	249 "	33 "
4	商店をもっと大きくする	98 "	13 "
5	駐車場や自転車置場を設ける	63 "	8 "
6	営業時間の延長をする	48 "	6 "

観光振興

◎ 観光開発に対する考え方。(表12)

2つ選んでもらいましたが、次のような結果となっています。

(表12)

1.	観光に関連する働き所が増え、水産業等へも波及し地域経済の向上につながる。	300件	38%
2.	町の知名度向上やイメージアップにつながる	206 "	26 "
3.	観光業者など一部の人たちにしか恩恵はない	199 "	26 "
4.	町民自身が地域の良さを見直すよい機会となる	105 "	13 "
5.	観光客、町民のレクリエーションの場の充実につながる。	105 "	13 "
6.	多くの人と接触でき、交流を深めたり見聞を広めることができる。	97 "	12 "

◎ 今後の観光地整備をどのように進めていったらよいか。(表13)

2つ選んでもらいましたが、トップは「土産品・郷土料理の開発」44%、2位「観光地資源の見直し」41%、3位「観光施設の整備」25%となっています。

(表13)

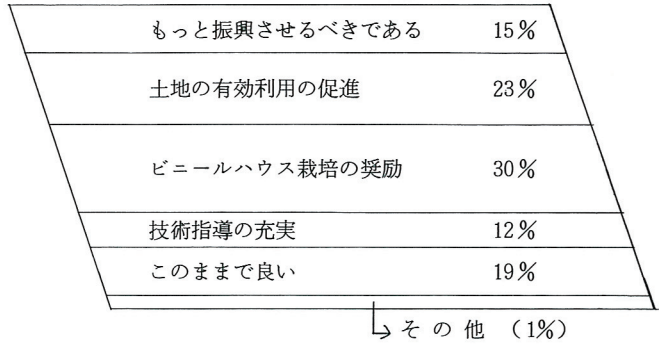
1.	土産品や郷土料理などの開発	343件	44%
2.	観光地域資源の見直し・整備	314 "	41 "
3.	観光施設の整備	191 "	25 "
4.	観光PRの充実	188 "	24 "
5.	おまつりなどイベントの実施	121 "	16 "
6.	観光ルートの整備	116 "	15 "

農 業

◎ 農業について、どんな考え方を
持っていますか。(グラフ13)

「ビニールハウス栽培の奨励」30
%がトップとなっており、2位が
「土地の有効利用の促進」23%、3
位が「このままで良い」19%となっ
ています。

(グラフ13)

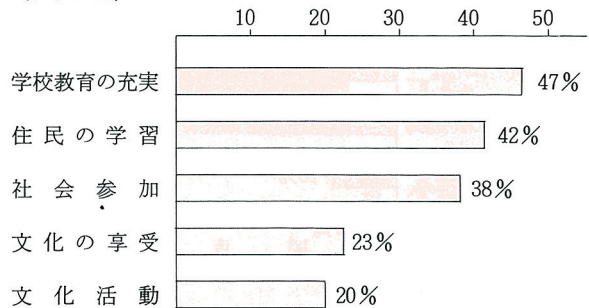


教 育

◎ 教育文化の面で、今後どのよう
なことから取り組んだらよいか。
(グラフ14)

2つ選んでもらいましたが、トッ
プは「学校教育の充実」47%、2位
「住民の学習」42%、3位「社会参
加」38%となっています。

(グラフ14)



◎ 小・中学校の教育で特に力を入
れてほしいと思うのは。(表14)

2つ選んでもらいましたが、次の
ような結果となっています。

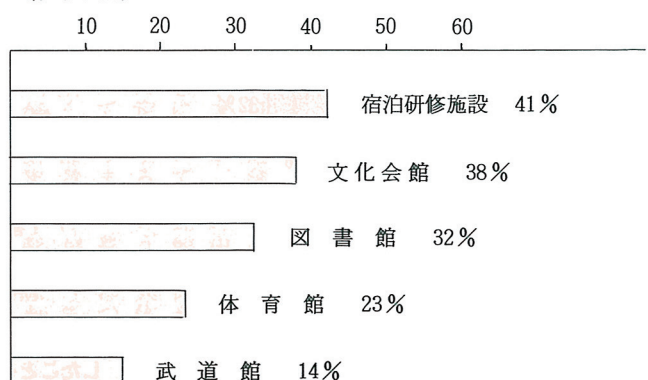
(表14)

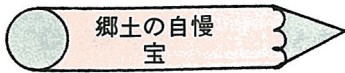
	順位	率
1. 誰れにも親切であたかい心を持った人に育てる	489件	62%
2. 落ちこぼれ、非行、いじめがないように	386 "	49 "
3. もっと学力がつくようにする	176 "	22 "
4. もっとスポーツに力を入れて体力がつくように	97 "	12 "
5. コンピューター教育の導入	94 "	12 "
6. もっと音楽とか美術などの情操教育に力を入れる	78 "	10 "

◎ あなたは今後必要と思われる社
会教育施設は。(グラフ15)

5つの施設を呈示して2つあげて
もらったところ、1位は「宿泊研修
施設」、2位「文化会館」、3位
「図書館」、4位「体育館」、5位
「武道館」という結果が選択されま
した。

(グラフ15)



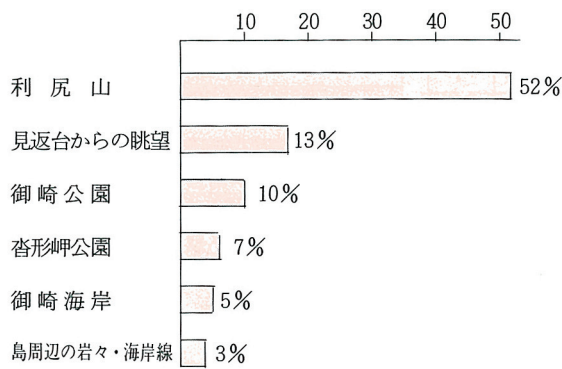


◎ 「郷土の自慢」ともいうべき資源や要素

各項目ごとに名称を書いてもらいましたが、次のような結果となっています。(主な回答を掲載しました。)

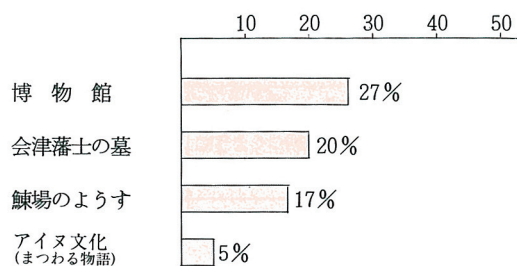
1 景色・景観 (回答者 164件)

1番多かったのが「利尻山」



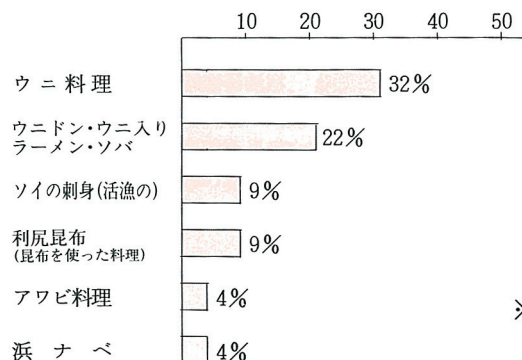
2 歴史・文化 (回答者 41件)

1番多かったのが「博物館」



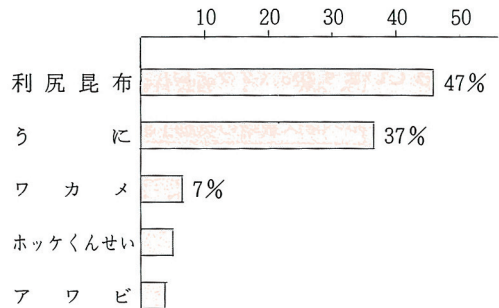
3 味覚・料理 (回答者 125件)

1番多かったのが「ウニ料理」



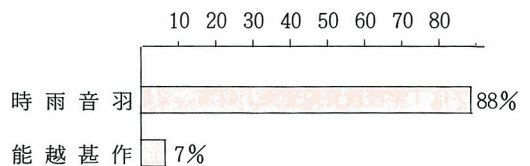
4 特産品 (回答者 213件)

1番多かったのが「利尻昆布」

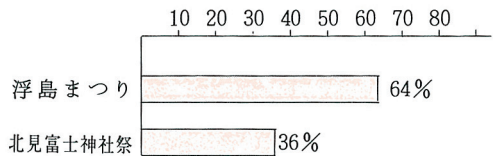


5 郷土の人物 (回答者 101件)

1番多かったのが「時雨音羽」

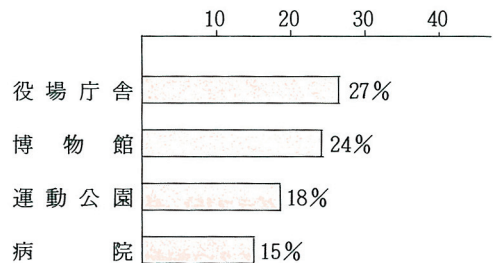


6 行事・祭事 (回答者 76件)



7 施設・建築物 (回答者 71件)

1番多かったのは「役場庁舎」



☐ 「郷土の宝」を1つあげてもらいましたが、1番多かったのが「利尻山(富士)」続いて「ウニ・昆布(海の幸)」・「きれいな海」「利尻の自然」となっています。

※ この他に各項目について、貴重な意見を寄せられましたことをここに報告します。

利尻町議会 道外先進地行政視察報告



◎視察参加議員

- 加 藤 孝三郎
- 吉 田 欽 哉
- 葛 西 明 俊
- 岡 田 一 雄
- 大 腰 金治郎
- 不 破 保
- 大 窪 松 夫

昭和六十三年年度利尻町議会議員道外先進地行政視察は、去る四月二日から四月十日までの九日間議員七名が参加し、長崎県壱岐郡郷ノ浦町、同郡勝本町を訪問し、観光、漁業及び町の活性化対策等の振興状況について視察をして参りましたので、そ

の概要を報告致します。
視察しました壱岐島は、本島から二七〇〇キロ余り離れた長崎県の北東部（北緯三三度五十分）玄界灘に浮かぶ離島で、面積一六四平方キロメートル、行政区域は四町に分かれており、人口は三九六〇〇人余りで、主産業は農業と漁業であります。

なお、壱岐島の二町を視察しましたが、紙面の都合により、勝本町の状況を報告致します。
◎勝本町の助役の町の説明は次の通りです。

壱岐は近年離島振興法の適用を受けて、約一千億円の公共事業が実施されております。比較的港も整備されており、道路、公共施設も整備されており、ほぼ完成の域に達したのではないかと思っております。

勝本町は、壱岐島の約五分の一で、三十平方キロメートルの面積です。世帯数は二、二四七戸、人口が八、七二人で、島内唯一の温泉を持っている町であります。昭和四十六年に国の温泉地の指定を受け、保養と漁

業の町ということをやッチャフレース（宣伝文句）に、現在の行政を進めております。

次に、産業構成では、一次産業五十一パーセント、二次産業一二パーセント、三次産業三七パーセントで、農業もありませんが、町の経済はほとんど漁業でもっているといっても過言ではありません。また、全町的に見て人口は過疎化、高齢化現象であります。中でも漁業従事者については比較的従来から町に定着するという特異体質をもっております。農業については全く高齢者だけが残っておりますが、漁業は一軒の家から二男、三男たちもここに定着し、新しく船を造って漁業に従事しているといったことで、漁船数も現在約七二〇隻程度あり、漁船数としては長崎県では比較的多いようです。そういったことが逆に漁場を狭める原因となり、最近漁獲量も激減しております。それと、ここはわりと長寿の地域であり、六十五歳以上の高齢者が約一六パーセントで、高齢化が進んでいます。水産業は比

較の後継者は定着しておりますが、農業では全く後継者のめどがないという農家が半数以上あり、農家戸数が八六一戸ですが、専業農家が一七〇戸程度しかありません。経営規模も割合小さいので、農業だけでは経済が成り立っていかないということもありまして、近年公共事業が継続的に行われておりますので、公共事業に従事し農業外収益を得ている傾向が非常に強い状況であります。

また、ここは水田が比較的整備されており、農作物については自給自足できる島であります。この主幹作物は、米と肉用牛、たばこであり、これを柱として、麦、大豆、野菜等が栽培されておりますが、ほとんど米と牛が主力であります。しかし、最近ご承知のように、米の生産調整が非常に厳しくなっており、こうした中で、肉用牛の飼育が本町でも盛んであります。最近の情勢下でも、農産物については非常に外庄の関係もあり、少々行き先不安もありますので、本町においては肉用牛を毎年増頭

目標で推進をしております、現在約三三〇〇頭の肉用牛を飼育してあります。農業の生産総収入は約十五億円で、米が約五億円、たばこが二億五千万円、肉用牛が四億五千万円で、大体こういったものが主な農業収入であります。一方、漁業ですが、漁船数が約七二〇隻で、トン数の内訳は、三トン未満二一七隻、三トンから五トン未満二七四隻、五トンから十トン未満一四二隻、十トン以上二十トン未満七九隻で、水産の水揚高は五十億円程度です。この水揚高の中でも、十トンから二十トン未満のものが北海道周辺にも何隻かお世話になっており、それから石川県、新潟県、鳥取県の各県を漁場として、五、六十隻操業していますが、水揚高の三分の一近くは他県の近海で水揚しており、町としてもこのような漁船数の関係から、港湾整備を第一の町の振興策として手掛けています。

ここは従前から汽船も通っておりますけれども、現在はそういった漁船が増えたということ、漁船とのトラブルもありまして、航路権はありますが、現在では連絡船は通っていません。そうした中で港造りですが、漁港的な要素を持った港湾ということ、国とも交渉しながら事業を進めておりますが、これは今後の大きな課題ではないかと考えております。

また、壱岐周辺は、韓国漁船の侵犯が非常に多いということで、洋上トラブルも起きています。また、イロカの食害による漁獲不振と乱獲による資源の不足、また、漁船が増えるとも漁場も限られ、限られた漁場に集中して出漁するため一漁家当たりの収入が減っているというのが現状であり、町としても、農業、水産業を含めて今後どのような活性化対策があるのか模索中であります。

ここは非常に史跡もございまして、元寇（げんこう）の乱、これも二回あり、こういった遺跡や、地元においても気が付かない文化財と言いますか、そういったものもかなり発掘されております。そういった恵まれた自然景観と、名所、史跡を有効に利用しまし

て観光産業を多に取り上げていきたいのですが、ここは玄界灘ですから、観光形態は夏型の一期観光であります。島内には旅館、民宿等がかなりありますが、冬になりますと観光客がさっぱりということで、旅館業者は非常に低迷しており、壱岐四町でそれぞれ観光を主眼とした施策を進めています。本町としても何とか一期観光を脱却するため、既存の自然景観、関係施設等の活用を十分見直し、観光に対する受入施設対策を推進することが本町の活性化対策ではないかということで、今年将来の展望に立ちまわして町の基本構想を策定しております。

町の台所ですが一般会計が二億五、七〇〇万円、特別会計が一億七、四〇〇万円、合計四億二、七〇〇万円の予算規模であり、この中で町税の占める割合は一・四パーセント、二億九千万円ぐらいあります。地方交付税は一億三、五〇〇万円、約一・八パーセントでありまして全く国、県依存型の財政体質であります。

◎ 以上のような説明があり、このあと勝本町の理事者と視察議員との間で次のような質疑応答がなされた。

質問 農林水産業費の約七億一千万円で農林と水産の比率は？

回答 当初予算で申し上げますと、農業費が四億二〇〇万円、水産業が三億五〇〇万円です。水産の中で、二億円程度は漁港の関係です。

質問 漁船漁業の振興対策及び利子補給については？

回答 利子補給につきましては、近代化資金等につきましても、最近では六・二パーセントです。それで私どもの考え方としましては末端を三・五パーセントにもつていきたいという考え方であります。当然金利の変動にもよります。補給の率も変わります。資料の中のプロパー資金、こ

これは二・五パーセントも

質問

漁業後継者の花嫁対策？

質問

一村一品は？

①特産品について

ておりますが、これは漁協単独融資でありまして、利子が七・〇パーセントで、近代化資金で対応できないことがわかり、今年度から一つにして、以前の一・五から二・五にいたしました。それと、そのものがウエートを大きく占めております。活用も多く、最近漁船の建造、更新などもありまして、五トン型の更新も多いわけです。

質問 自然石投入の対象物は？

回答 これは継続事業でやっておりまして、アワビとサザエです。しかし、最近の漁業経営の中で主婦の方々の収入の一つにもなればということ、今年度はアカウニを対象にやってみたいと思っております。

質問

漁業者の年間収入は？

回答 漁船の大きさなどの個人差がありまして、平均ではちよつとつかめない面があります。とる人で年間一億円近い水揚げがあります。とれない人は百何十万です。

質問

今後の観光振興対策について？

回答

観光客がみえても、実際にここに足を停めさせる施設がない。これは第一に言われることです。宿泊施設はありますが、大量にお客様がみえると分宿をさせなければならぬ。そうしますと、大型

回答

一昨年までは浜辺の集いというところで、特に福岡当たりにPRしまして夏時期に募集しましてやったことがありましたが、こちらの若い漁師さんは、昔の漁師さんみたいでなくて割に積極的にアタックしていこうということ、何組かはできました。しかし余り成果が上がらなかったもので、今年度は漁協の中で委員会がありますので、手持ち弁当でやってみようということ、今後は単独で進め

回答

水産加工品でイカですが、普通は味の悪いイカを『のばしイカ』にしています。が、ここは夏イカの味のいいものを加工して売り出したらどうかということ、昨年それに取り組まれました。かなり好評でまだここは出荷調整の施設を持ちませんし、年間を通して生産できる品物もありませんが、そういったことが手始めではないかということ、今それを模索中でございます。

のホテルが必要ですから、これについては行政だけでは手の打ちようもありませんから、やはり民間資本の導入ということ、こういったことにも取り組まなければならぬと考えております。観光につきましては、議会の方でも非常に関心を持っており、今後推進をしていくための体制作りを今からやっつけていかなければならぬというような段階です。まだ機構を作っておりませんが、港づくりも観光の一端になりますし、長期計画審議会を設置いたしました。今後全ての施策を含めた港づくりはどのようになるとよいか各階層の方々の意見を集約したいということ、現在そういったことに取り組んでいます。

◎研修視察所感

長崎県壱岐郡郷ノ浦町、勝本町

壱岐の観光土産品は島内で全部製造しているわけではなく、長崎県ではあるが福岡の経済圏に入っていることを利用して、都市部で製造しそれを産物として売っている。また、島内で製造している焼酎にしても、一種類や二種類でなく何十種類も、入れ物から度数からいろいろ造っている。これは本町の場合もかなり産物としてとれるものがあるが、こんぶやわかめの袋詰めだけではなく付加価値を高めるということから、今後宗谷の経済圏にはあるが小樽との歴史的つながりを生かしながら町づくりに結び付けるために何か探っていくてはどうか。また、さらに小樽から札幌へと広げていくことが大切ではないか。それから、土産品一つとっても、利尻町の産物ということではなく、利尻島ということとで売り出していくことが必要である。それから、これからは観光

産業に結び付けた水産業の振興というのも考えていかなければならないのではないか。

②体験観光について

雨天のときでも時化のときでも、観光客が実際的に見たり味わったりすることのできる施設が必要ではないか。それを先取りしてやらないと、観光発展というものはできないと思う。そして利尻でしか体験出来ない体験観光というものを進めていってはどうか。

③地元資源の活用について

どこへ行っても、地元で採れるものを食べさせているが、利尻の旅館等ではあまり地元で採れるものを食べさせていないようであるが、島内の魚介類にしても、山菜にしても、まだまだ活用されていないものがたくさんあるように思われるので、旅館、民宿等の協力を得て、観光客に利尻の味覚を味あわせることにより、口コミによる宣伝につながるのではないか。

④通年観光について

通年観光というものは、南の島の奄岐においても課題になっており、本町と同じようではあるが、イベント等の開催により観光客を誘致しようとしていることなどから、本町としても通年観光を目指して秋、冬のイベントを開発していかなければならない。また、各種イベントを開催して観光客が入ってきて、宿泊施設の充実がなければ成功には到らないと思うので、宿泊施設の充実も併せての今後の本町の課題である。

⑤養殖事業について

奄岐は、天然の良港に恵まれて、養殖事業には適しているが、実際に養殖事業を行なっているものは一企業がなっている。また、各養殖事業の環境は整っているが、天然のものが多く水揚げされ、養殖事業を実施しても長続きはしないということであり、利尻とは条件が相当違ふようである。

⑥後継者の花嫁対策について

漁業後継者の花嫁対策についてはどこも同じで、奄岐の場合、近くに福岡市という大都市があるので、実際に島へ来てもらい青年との交流などを行なったが、島に来ることには来るがほとんど失敗ということで、これといった解決策は現在のところはないようである。

奄岐においても夏だけの観光だけといわれているようであるが、航空便（YS）が一日三便、航路も一日一四便というように、利尻島の観光産業の発展及び水産業の発展においても、離島というハンデを克服するためにも、交通体系の整備が最も重要であり、今後フェリーの高速、大型化飛行機の大型化、増便が不可欠であると考えられるので、これを実現し、利尻町として利尻島の各産業の発展を強く望むところである。

議 会 だ よ り

第四回利尻町議会臨時会

昭和六十三年第四回利尻町議会（臨時会）は、去る七月十九日開かれ、会期を一日間と決めたと、議長の諸般の報告、町長の行政報告のあと、次の議案を審議し、いずれも原案の通り可決し、閉会しました。

◎ 工事請負契約の締結	◎ 工事請負契約の締結
工事名 沓形線道路改良工事	工事名 昭和六十三年度利尻町公営住宅新築工事
契約金額 七千九十万円	契約金額 三千二百八十五万円
契約の相手方 中 田 組	契約の相手方 葛西・大沢共同企業体
代表取締役 中 田 豊彦	代表者 葛西建設(株)
工 期 十一月十五日	代表取締役 葛西明俊
◎ 工事請負契約の締結	工 期 十一月十日
工事名 昭和六十三年度利尻町公営住宅新築工事	

議 会 だ よ り

第3回定例町議会 一般質問

このたび開かれた第三回利尻町議会(定例会)において、一般質問がありました。その質問の要旨は次のとおりです。

原 崎 議 員

一、養殖昆布の成育現況と来年度の収穫予想及びこれが対策について

利尻町における水産物の全水揚高の約三分の一は昆布生産であり、したがって、これが良、不良の町内経済に及ぼす影響はもちろん、全町民の日常生活意識に及ぼすものは甚大なものがあると思っており、このことは昔も今も変わりません。昆布養殖事業はほぼ成功したというものの、自然界のことであり何一つとして定まった方法も見出しがたく、今までに何度となく難関に出会い、その都度大きな犠

牲、損失を乗り越え、これが町の一大業種として定着された業者はもちろん、関係者に心から敬意を表する次第です。

さて、本年度収穫する養殖昆布ですが、通常年の生産物から見ると、成育がおくれているとのことですが、その実態はどうなのか。また、残された期間での対策はないのか。また、私が春の漁業を語る会で申し上げた町民みなして、よりよい利尻昆布の生産に協力していただくということに、町は具体的にどうのような方法、指導を講じられているのかお聞かせいただけますか。

が減産の状況にあるということ。業者間で取りざたされており、杳形地区は若干異なるというのですが、これが実情はどうなのか。仙法志地区業者としてはは一大難関に直面したわけですが、この対策について十分に調査、研究、組合と業者と話し合いをされて、もしもの場合の対策に遺漏のないようにしていただきたいと思いますが、これが対策についてのお考えをお聞かせ願いたい。

答 弁 : 町 長

養殖昆布が紆余曲折を経て、本格的な養殖事業として取り組んで以来、地域差、個人差はありますが、約十年余りを経過しました。今、本町の漁業生産の中では三分の一を占めるまでの

重要産業に発展していることは着業者の皆さん、また漁業関係者の日夜懸命な研究、努力の賜物と思っています。

特に、この試験研究機関においても、昆布の生態解明は確立されていない現況の中で養殖業者が研究心に燃え、より良質な製品を生産するため、毎年独自の手法を編み出して生産の拡大を図っている努力に対しまして、深く敬意を表しているところで、行政が指導する立場ではなくて、最も理想とされる生産体制であると思っております。

さて、ご質問の件であります。養殖部会及び漁業関係者の話を総合的に判断しますと、まず第一点目の品質低下ぎみとのことですが、個人差は特にある中で、色、幅、実入りは平年並であるものの、短尺ものがあり、不揃い品が多いようであります。その原因は、種昆布の不足による選別と肥培管理、雑草掃除の時期等からくる不揃いのようであります。しかし、個人によっては、昨年を上回る良質な製品の方もあります。

お 願 い

議長への文書は必ず議会事務局へ!!

公の議長への文書が議長自宅へ送付される団体があります。議長への文書等は必ず役場内議会事務局へお願いします。

それから、第二点目の対策であります。実入りをよくさせることはある程度可能ですが、枯れが早くなり、より短尺ものが多くなることが考えられますので、当然着業者が選択すべきことであると思っています。

また、その判断に当たっては大敵でありますヒドロゾア対策も十分考慮して行うべきであると思っています。

第三点目として、よりよい利尻昆布の生産に対する町の指導体制であります。良質な利尻昆布製品づくりについても、特に近年価格の低迷という不幸な事態によりまして、一番苦心しているのは、やはり着業者であり、漁協であると思っています。また、諸流通対策につきましても、新販売ルート開発を進める場合には、全組合員の了解が必要であり、したがって時間が必要なものと思います。

次に、乾燥それから人手についても、生産コストが関連することでありまして、着業者の意向が大事だと思います。町として進めてきた対策は、まず良

質な昆布をつくるために、先駆的な地域、それから団体との技術提携等を以前から進言してきましたが、残念ながら実現に至っていません。

製品需給につきましては、情報把握等、消費者ニーズにこたえる市場調査、製品開発を漁協と連携をとり、積極的に進めています。

最後に来年度の生産する種昆布の状況ですが、関係者の話を総括しますと、地域によっては深刻に受けとめざるを得ない状況にあるようですが、やはり水温や胞子状況に左右されるところから、まだ結論は早く、もう少し経過を見る必要があるようです。最悪の場合には、地域ぐるみによる種昆布の発掘、地域間での譲り合い、そして利尻促成昆布の生産段階ごとに対策を進めていかなければならないと思っていますので、早急に漁業協同組合とも話し合いをして、早めに対策を組合自体も行うように指導したいと思っています。

最後に町としましては、係留施設の新設、改良を始め、常に

前向きで対応策を検討しておりますし、今後ともそうありたいと思っています。最も肝要なこととは、一番利害者で技術的に明るい着業者、そして漁協の意向を十分尊重しながら、要望事項があれば、今後も前向きに取り組んでまいりたいと考えております。



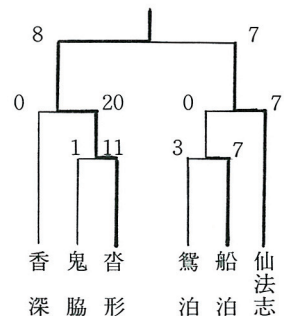
優勝・準優勝を飾る 第2回利礼6地区少年野球大会



↑
沓形チーム

↑
仙法志チーム

去る八月六日・七日、礼文町総合グラウンドで行なわれました第2回利礼六地区少年野球大会において、沓形チームが優勝、仙法志チームが準優勝を飾りました。



昭和六十三年 第二十一回

町民文化祭の作品を募集!

町民の皆さん、町民文化祭に参加してみませんか。

自分で作品を作る楽しさ、発表のよろこびを体験してみましよう。

毎年、十月下旬より十一月上旬にかけて沓形・仙法志の両地区で町民文化祭が行なわれます。

利尻町教育委員会で、今年度の作品を募集しておりますので、町民の皆さん、また、町内各サークルの方々の参加をお待ちしております。

作品の応募については次のとおりです。

◎応募資格

町内に在住、在勤の方

◎申込期限

昭和六十三年十月二十八日(予定)までに教育委員会または、公民館にお届け願います。



※募集作品は、陶芸、写真、手工芸、絵画、書道、盆栽、短歌、俳句などですが、これ以外の作品でもかまいませんので、ぜひ出品願います。また、作品には必ず住所と名札をつけて下さい。作品は、文化祭終了後お返しします。

▼応募についての問い合わせは利尻町教育委員会(四一二四四五)

利尻町公民館(五一〇四九)へ

利尻町公民館

(五一〇四九)へ

海上保安 大学 校 学生募集

▽受付期間△

九月十三日(火)から九月二十六日(月)まで

▽受験資格△

昭和四十年四月二日(大学)校学生は昭和四十三年四月二日(以降に生まれた者で次に掲げるもの

- (一)高等学校を卒業した者及び昭和六十四年三月までに高等学校を卒業する見込みの者
- (二)高等専門学校の第三学年の課程を修了した者及び、昭和六十四年三月までに高等専門学校の第三学年の課程を修了する見込みの者
- (三)その他大学入学資格検定に合格した者等人事院が(一)に掲げる者と同等の資格があると認める者

▽試験日△

第一次試験
大学校 十一月十二・十三日
学 校 十一月十三日
第二次試験

大学校 昭和六十四年一月九日

学 校 昭和六十四年一月九日

▽採用予定数△

大学校学年：約五十名

水路：約十五名
灯台：約三十五名
通信：約十五名
航海・機関主計：約九十名

※詳しくは、利尻航路標識事務所にお問い合せ下さい。
電話 四一二四四八

今月の納税

町 道 民 税

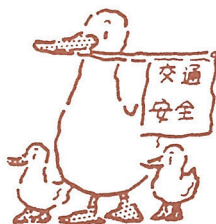
第 2 期

納期限 9月30日

交通事故死 0 目標 300 日

達成日 昭和64年 6月2日

- スピード・ダウンで安全運転を!!
- シートベルトヘルメットは必ず着用しましょう。



秋の全国交通安全運動 (9月21日~30日)



利 尻 町
沓形・仙法志交通安全協会

優良勤労青少年顕彰

上村一治君が受賞

本年度の優良勤労青少年として、上村一治君が知事から顕彰されました。

この顕彰は、道内の農漁業や各職場で働く青少年のなから勤労意欲に富んだ自立心豊かな青少年を表彰し、激励するものです。今年は、宗谷管内から十二名の若者が選ばれました。

顕彰式は、七月十六日宗谷支庁大会議室で行われました。

上村君は、バレーボールを通して青年活動に取り組んでおり、全国大会へもコマを進める実績をもっており温厚誠実な人柄で勤務態度も良く、利尻町の将来を担う青年として期待されています。

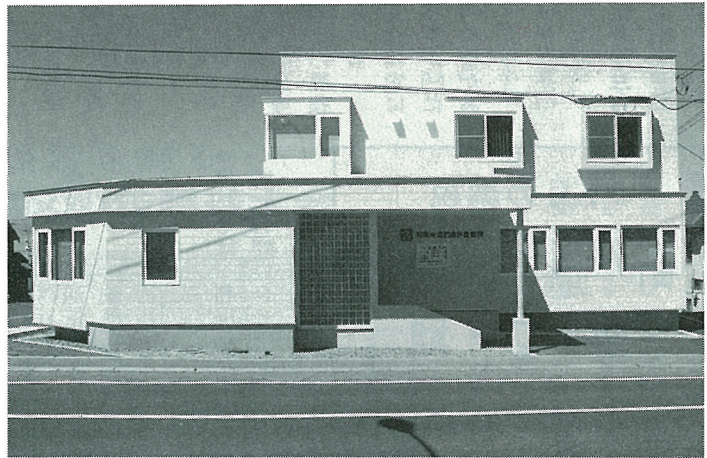


はる 上村一治

昭和40年6月5日生
利尻町沓形字緑町

利尻町沓形歯科診療所

— 8月19日開業 —



今年四月から建設を進めておりました利尻町沓形歯科診療所が、去る八月九日完成し、八月十九日開業いたしました。建物は、

皆様のご利用をお待ちしております。診療予約を受付しておりますので、受診希望の方は申し込下さい。

◎木造二階建

- 面積二七七、八九平方メートル
- 一階―診療部門
- 二階―住宅

※申込電話番号

- 四―三〇〇〇
- 住所―利尻町沓形字日出町 (利尻町役場前)

小樽・利尻礼文航路に 第二宗谷丸就航

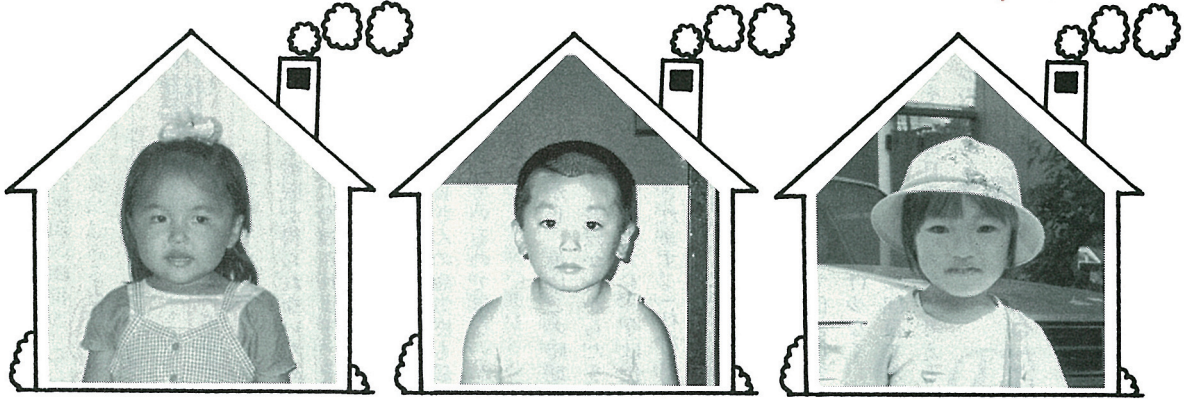
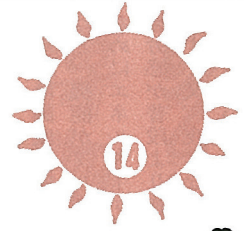
小樽・利尻航路は現在第一宗谷丸(五三七ト)が運航されておりますが、小型船のため車両の積み残しや客室等の不備など運航に不安を抱えている状況でありました。

これを解消すべく大型化を要望してりましたが、このたび運輸局より大型化の認可がなされ十月三日から、一、〇〇〇ト型カーフェリー第二宗谷丸の就航が決まりました。大型船の就航により旅客人員、自動車航送の増大、荒天時の安全確保が見込まれるほか、本町の振興発展にも期待されるものと思えます。

◎第二宗谷丸の概要

- 特別室 一室 定員 二名
- 一等(寝台付) 四十名
- 二等 二二三八名
- 車両積載能力
- 乗用車で約五十台

わが家のアイドル



沓形字泉町

さおり
尾上 沙織ちゃん
(3才)

父：晴彦
母：幾美

沓形字泉町

こうき
山本 光希くん
(3才)

父：栄治
母：友恵

沓形字本町

まき
正部川 まきちゃん
(3才)

父：寛
母：恭子

床の間に飾る古典的な花と考えられておりましたが、近年ヨーロッパ風の生活空間の普及にともない、私達の生活様式も随分と変化してきました。それにとともに生け花も「住いの花」として身近かなテーブルの上とか、玄関、テレビの上等、インテリアとしての住まいにマッチしたお花が必要になって参りました。



華道未生会は、毎週水曜日、研修センターに於いて、午後一時より、少人数ですがお花を楽しみながら、少しは技術の向上もしたいものと励んでおります。秋の町民文化祭には、町内在住の未生会OBの皆さんと一緒に参加させて頂いております。

「生け花」というと以前は、たお花が活けられたら……。人、住い、装い等への新しい取り組みが出来ればと思いが、頑張っております。これからも、いろいろな花との出会い、人との出会いを大切にしたいと思っております。

華道未生会 代表 渡辺昌子

サークル紹介 ▼華道未生会▲

健康な毎日を送るために

あなたと保健室

からだ、

疲れていませんか

今年の夏は例年になく暑い日が続きました。そのおかげで、こんぶ採り、ウニ採りが毎日行われ、皆さん休むひまなく、仕事とはいえ大変だったと思います。定例で実施している健康相談では体重測定もしていますが、毎年、夏に皆さんの体重が若干減りますが、今年の夏はその減りぐあいも少し多く、そういう数値からも大変さがうかがえます。

外気温が高くなると体温も必然的に高くなりますが、からだの中では調度よい体温にもどそうと、機能がフル回転し、そのためにエネルギーが消費され、疲労感が普段より強くあらわれます。又、夜になっても暑さがかわらないので寝苦しく、充分



な睡眠が得られないため、疲労が更に増強されます。それに加えて仕事が忙しいとなるとからだがまいってしまいます。ですから皆さんの疲労感も最高潮に達しているのではないかと思えます。

しかし、漁はこの時期が勝負です。普段からからだを気づかっている方でも、今は仕事が一番優先されます。これからノナ(紫ウニ)採りもはじまります。疲れている時は休むことが一番なのですがそんなことは言ってもらえません。そこで仕事以外の疲労をできるだけ少なく、疲労はなるべく早くに回復できるように毎日の生活の中で考える必要があるでしょう。

疲労をできるだけ

少なくするために

疲労を最少限にするためには

どのような生活をするとういのでしょうか。

1、睡眠、休息は充分とる。

寝苦しい時はやはり工夫が必要で、寝る前にもう一度汗を流す、あるいは水枕をあてて寝るのもよい方法です。ただしくれぐれもお腹を冷さないように。

休息時間が少しでもある場合はなるべく横になりましょう。立っていたり座っている場合

少なからず筋肉が緊張し、それだけエネルギーが消費されます。

2、充分な栄養をとる。

暑いからといってジュースのがぶ飲みは感心しません。水分でお腹はふくれるし、からだの中からお腹を冷してしまいます。お腹をこわしたり、水でおなか

かがいっぱいでは必要な栄養はとれません。良質のたん白質、エネルギー源となる糖質、脂肪

野菜や果物などいろいろな物を過不足なく摂ることに心がけて下さい。忙しい時に栄養のバランスをとることは難しいと思

ますが、少し多めに作り冷凍したり、夜のおかずにと工夫加えて朝のおかずにしたりとよいのではないのでしょうか。

4、健康に自信を持つ。

何か病気を持っていたり、調子が悪いと精神的に不安定で、ストレスとなり疲労にもつながります。調子が悪い時は無理せず早い時期に受診しましょう。

又、年に一回でよろしいですから、ひまな時に町のミニドック検診、各種がん検診を必ず受け、自分の健康に自信を持ちましょう。何も受けずに健康だと言う方がいますが裏づけがありませんよね。やはりしらべてもらって太鼓判を押されてこそ、本当に病気がないといえるのですから。

3、筋肉の緊張をといてやる。

ぬるめのお風呂は筋肉の緊張をやわらげます。肩も首も充分湯につかり、心を落ちつけるつもりで、ゆっくり入浴して下さい。マッサージも効果があります。又、軽い整理体操的な運動もよいでしょう。仕事して疲れているのに運動なんて思うかもしれませんが、仕事では同一姿勢が多く、特定の筋肉だけが疲労している場合があります。

疲労している筋肉を充分のば

保健婦 秋元 記



(65)

利尻の語り(26)

秋の彼岸

語り 工藤 浄真さん

彼岸には、「春彼岸」と「秋彼岸」とがあり、九月は秋彼岸で、秋分の日（九月二十三日）をはさんだ前後七日間をいいます。

もともと彼岸とは、梵語の「波羅密多（はらみった）」とい、「到彼岸」の略で、生死の境を此岸（しがん）とし、煩惱の此岸を離れて涅槃（ねはん）の世界に到達することをいいます。

彼岸には、「暑さ寒さも彼岸まで」というように気候が好適であることから、各寺院で法要が営まれます。この彼岸法要を彼岸会（ひがんえ）といいます。彼岸になると、先祖の墓参りをするほか、団子をつくって供えたりしますが、日本各地ではいろいろな行事がみられます。

日迎え日送り行事、七つ鳥居といつて、秋分の日（七つ）の鳥居をくぐって歩くと中風にかからないという行事、春秋の彼岸に、彼岸籠りといつて山に登る行事があるなど様々にみられます。

彼岸は一年を寒暖に分ける境目として季節の節目として、日々の生活に深く根づいています。

「彼岸にはね、春彼岸と秋彼岸があって、秋彼岸は秋分の日（九月二十三日）をはさんだ前後の七日間をいうんだね。」

暑さ寒さも彼岸までという言葉にあるように、春彼岸が過ぎると暖かくなってくるし、秋彼岸が過ぎると、一段と寒さが厳しく身にしみるようになって、まあ、季節の節目として彼岸が

あるんだね。

彼岸の初日を彼岸入り、中日を彼岸の中日、最後の日を彼岸明けといつて、彼岸の中日、つまり、秋分の日、春分の日も同じだけど、太陽が真東から上がって真西に沈み、昼と夜の長さが同じになるんだね。

そのことから、彼岸の中日に仏事を営むことが多くあるんだけど、それは仏教で尊ぶ中道にあたるからなんだ。

そのことから、彼岸の中日に彼岸法要、彼岸会（ひがんえ）ともいうんだが、それが営まれることが多くあるんだけど、どういう訳か、仙法志では春の彼岸法要はあるけど、秋の彼岸法要はやってないんだ。

春の彼岸はたくさんの方がお参りをするけど、秋の彼岸は昔

からやってないね。本泊の茲教寺では春も秋もやるけど、ここはどういう訳だか、昔からなくてね。

それでも檀家のなかには、彼岸団子をつくって仏壇に供え物したり、墓参りするところはあるね。青森からきた人たちが多いね。

秋は忙しいのかね、昆布づくりや冬の準備などがあつて。

私の寺では、年に四回の法要があつて、春には三月の春彼岸と宗祖法要、六月に魚鱗供養、昔のニシン供養だね、八月には十八日におこなっている施餓鬼

（せがき）供養、そして最後に十月の初めに十日十夜（じゅうにちじゅうや）法要があるんだ。各お寺でそれぞれに一年にいろんな法要があつて、たくさんの方がお参りするけど、それぞれに違って、地域の特徴が出てるようだね。

日常生活のなかにもいろいろな行事があるけど、忙しさのなかで形式的におこなわれているものが最近、随分とみられるね。古くから伝わってきたものは大事にしないとね。

語り 工藤浄真さん 浄土宗、専修寺住職、青森県生れ
探訪 西谷栄治（町立博物館学芸員）



日迎え日送りの行事 年中行事図説 岩崎美術社（1980）

出稼労働者 傷害保険

今年も出稼ぎの時期となりましたが、安心して就労することができるよう、必ず保険に加入しましょう。

◎この保険の特典

この制度は道内に住んでいる方が出稼ぎ中、万一負傷などにあった場合に、その掛金に同じ保険金が支払われるものです。

また、この制度には道及び町が加入者の掛金の軽減をはかるため、保険金五十万円、加入月数八カ月を限度に、保険料の三十％（町の補助も同率）を補助しております。出稼ぎされる方とその家族の安心のために、就労前に、ぜひこの保険に加入してからお出かけ下さい。

◎加入方法

役場又は、仙法志支所にある加入依頼書に必要事項を記入し保険料を添えて役場広報交通係又は、仙法志支所に申し込んで下さい。

- 1、保険料は別表のとおりです。
- 2、保険金額は、一名につき五十万円以上、五十万きざみで三百万円まで加入できます。
- 3、保険期間は、一カ月以上、一年以内。

◎支払われる保険金種類

1、通院保険金

事故の日から一八〇日以内にそのケガのもとで通院された場合、通院日数一日につき保険金額の千分の一が九〇日を限度として支払われます。

2、後遺障害保険金

事故の日から一八〇日以内にその傷害がもとで後遺障害が生じたときは、その程度に応じて保険金の三〇〜一〇〇％の割合で支払われます。

3、死亡保険金

事故の日から一八〇日以内に死亡されたときは、保険金額の全額が支払われます。

◎保険金が支払われない場合

故意による場合や自殺、胸疾患、疾病、心神喪失等の場合は保険金は支払われません。

◎保険金の支払いを受ける場合
事故がおきたときは、三〇日以内に事故発生通知書（ハガキ）で通知して下さい。通知しない場合は、保険金が支払われ

※詳しいことは広報交通係か仙法志支所におたずね下さい。

あなたの傷害保険掛金の早見表（単位：円）

保 険 額	保険加入月数 道補助額 本人負担額	1	2	3	4	5	6	7	8
50万円	保 険 料	350	700	1,050	1,400	1,750	2,100	2,450	2,800
	道 補 助 額	105	210	315	420	525	630	735	840
	本人負担額	245	490	735	980	1,225	1,470	1,715	1,960
100万円	保 険 料	700	1,400	2,100	2,800	3,500	4,200	4,900	5,600
	道 補 助 額	210	420	630	840	1,050	1,260	1,470	1,680
	本人負担額	490	980	1,470	1,960	2,450	2,940	3,430	3,920
150万円	保 険 料	1,050	2,100	3,150	4,200	5,250	6,300	7,350	8,400
	道 補 助 額	315	630	945	1,260	1,575	1,890	2,205	2,520
	本人負担額	735	1,470	2,310	3,060	3,825	4,590	5,355	6,120
200万円	保 険 料	1,400	2,800	4,200	5,600	7,000	8,400	9,800	11,200
	道 補 助 額	420	840	1,260	1,680	2,100	2,520	2,940	3,360
	本人負担額	980	1,960	2,940	3,920	4,900	5,880	6,860	7,840

（注）道では、保険金額50万円、加入月数8ヶ月、保険料2,800円に相当する保険料の30%840円を限度として掛金の補助をしていますが、町も同様の補助をしていますので、次のようになります。



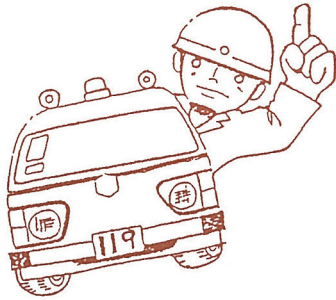
（50万円、8ヶ月加入のとき）
保 険 料 2,800円
道 補 助 840円
町 補 助 840円
最終本人負担額 1,120円

わずかな掛金で
大きな安心

「出稼ぎ」に出かける前に加入手続きを

9月9日は「救急の日」

消防だより
No.23



救急車は

正しく利用しましょう!!

▶ 昨年、利尻町の救急車の出場件数は 103件で、ほぼ 3.5日に1回という例年になく多い年でした。

しかし、なかには、救急車を利用するまでもない軽い病気でも利用できると、かん違いして要請してきたのもたくさん見受けられます。あくまでも「緊急・最悪の場合」ということをふまえて正しく利用しましょう。

お知らせ!!

「救急の日」9月9日に、救急車の展示、保健婦さんによる健康相談、心臓マッサージの実施方法など次の場所で行いますので御自由においで下さい。

- * 沓形地区：午後1時より、かめや商店前
- * 仙法志地区：午前10時より、岡山商店横



キョンシーの仮装も登場↑



↓ 婦人防火クラブのお母さんも大張切り

防火ルポ

「火の用心キョンシー」登場!!

● 8月5・6日に行われた、浮島祭りに特大キョンシーでパレードに参加。

婦人防火クラブのお母さんや少年・幼年消防クラブのチビッコも威勢よく参加し祭りを盛り上げ、防火のPRにもひと役がいました。



↑ チビッコたちもかわいいはんでん姿で参加



戸籍の

うんぎ

自7月1日
至7月31日

お誕生おめでとう
ございます



おくやみ
申し上げます

6/30 緑町 依田 彩花 伸希 長女
 7/15 日出町 飯田 庸介 修司 二男
 7/17 本町 板坂 竜 富雄 長男
 7/18 緑町 尾畑 なつき 弘美 二女

7/2 (仙)本町 井田 鹿之助 八四歳
 7/4 新 湊 神田 義雄 七八歳
 7/9 泉 町 成田 岩吉 七八歳
 7/14 久 連 須藤 キミ 八八歳
 7/22 富士見町 辻 市次郎 八九歳



利尻島国保中央病院 婦人科診療のお知らせ

- (期間)
 (1) 九月 五日〜 七日 (三日間)
 (2) 九月十九日〜二十一日 (三日間)
- (医師)
 (1) 札幌医大産婦人科医
 (2) " " " " " "

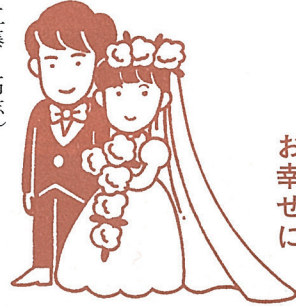
医局長 下谷 保治 先生
 講師 郷久 鉞二 先生

発行 利尻町役場

編集 商工課広報交通係 ☎(四)三三四五番

いつまでも

お幸せに



工藤 高志
 金谷 千秋
 7/9 泉 町

ご厚情に
感謝します

このたび次の方から愛情銀行
 に金一封が預託されましたので、
 紙上を借りてお礼申し上げます。

沓形字泉町 浜口 薫様から、
 妻優子様のお見舞返しを廃し
 て

仙法志字久連 須藤順一様から
 母キミ様の香典返しを廃して

仙法志字神磯 笠島栄蔵様から
 妻トヨ様の病見舞返しを廃し
 て

沓形字富士見町 辻 市夫様か
 ら、父市次郎様の香典返しを廃
 して

仙法志字本町 上木登記夫様か
 ら、母あい様の香典返しを廃し
 て

仙法志字久連 安達 恵様から
 夫克幸様の香典返しを廃して

(利尻町社会福祉協議会)

巡回職業相談所の開設について

稚内公共職業安定所より係官が来町し、巡回
 職業相談所を開設し、求職者の職業相談及び雇
 用保険の資格決定を下記の日程で行います。

日 時	場 所	時 間
9月20日(火)	利尻町公民館	午後1時30分 ～4時まで
9月21日(水)	利尻町公民館	午前10時 ～12時まで
	利尻町老人福祉センター	午後1時30分 ～4時まで
9月22日(木)	利尻町老人福祉センター	午前9時30分 ～11時まで

お 知 ら せ

富野火葬場に

電話がつかまりました。

TEL4-2825



印刷 (有)国境印刷